

平成 26 年度 第 3 回 大口町子ども・子育て会議 議事概要

日時：平成 26 年 10 月 14 日(火) 13:00~15:00

場所：大口町健康文化センター 1 階 多目的室

1. あいさつ

〈会長〉

- 台風の影響で開催できるか心配されましたが、無事開催することができた。
- 本日も大切な話し合いになりますので、慎重なご審議をお願いしたい。

〈健康福祉部長〉

- まずは、前回ご議論いただいた議題を 9 月議会に無事上程できことに感謝申し上げたい。
- 本日も多くの議題があるので、ごあいさつは簡潔にしたい。本日も、皆様方にご議論をお願いしたい。

2. 議題

- 次年度の保育園の利用に向けて、保育料の関係などを保護者に説明する必要がある。
- 早急に詰める必要があるので、まずはこの項目からお願いしたい。
- 後半は、計画策定における課題を整理したい。

(1) 利用者負担額（素案）について

事務局より資料 1 「平成 27 年度利用者負担額（素案）」を説明

〈会長〉

- 利用者負担額（保育料）設定の方向性について、保育標準時間と保育短時間の利用者負担額の差別化を図ること、現行の保育料を平行移動させること、保育標準時間には、現行保育料に現行延長保育料（2,000 円/h）を上乗せした保育料で検討することについて、ご承認いただけるか。

〈委員〉

- 現行の料金を確認したい。

〈事務局〉

- 30 分間 1000 円、3 時間で 6000 円になっている。

〈委員〉

- 実際の延長保育利用状況はどうなっているか。

〈事務局〉

- 実際には 1～2 時間くらいの利用者が多い。3 時間使っている方もいる。

〈会長〉

- 平成 27 年度については、裏面の「利用者負担額（素案）」について進める。さらに、平成 28 年度は国の基準に基づいて見直しを図っていくということでご確認いただきたい。
- 保育所運営委員会に「素案」を「案」としてあげさせていただくことでよろしいでしょうか。

(2) 大口町子ども・子育て支援事業計画策定に向けて

①新事業計画における量の見込み及び確保方策（案）について

事務局より、資料2-1・2-2「事業計画における量の見込み及び確保方策（案）について」を説明

〈会長〉

○利用実績との調整、今後の推計などで数字が並んでいてわかりにくいですが、何かお気づきの点があればご指摘いただきたい。

〈副会長〉

○数字を追って理解するのがやっとなのである。

○6ページの28年度に放課後児童保育の定員がぐっと増える。場所の確保は大丈夫か。

〈事務局〉

○西児童クラブは、西小のクラブハウス内にある。2階にあり使い勝手を見直したい。

○児童センター内で、必要面積を確保しつつも効果的に利用できないか。

○北児童クラブについては定員が多い。大口の北地域で住宅が建ち始めている。教室そのものの問題を含めて、教育委員会と一体的に人口増加に対応するために、教室と児童クラブの場所の確保を検討はじめている。

○人数が増えていく背景はそこにある。それに対する対応が求められる。

〈委員〉

○数字上は定員が倍になり、場所の確保が非常に困難である。本分である教育をまずは尊重してほしい。

〈事務局〉

○学校の授業と学童は、同じ児童を扱うので一体的に対応すべき。

○増築も含めて、協議していきたい。

〈委員〉

○西を72名に増やすことの要因はなにか。

〈事務局〉

○市街化地域で宅地造成がしやすい。

○今回の制度では、40名を一つの支援単位として対応するように示されている。西児童センター、西児童クラブでそれぞれ1つずつ、すでに多くなっている。35×2で70名程度の想定としている。

〈委員〉

○70の定員になると、大型児童クラブとして補助金がかわってくるかもしれない。ご検討いただきたい。

〈会長〉

○子どもの安全の問題、国の補助金との関係など、十分に精査して見込み量の確保を進めてほしい。

〈事務局〉

○西学校区では、4～6年生の利用意向もみられるので、定員を増やしていくことが必要であると思われる。

○新たな住宅開発が、大きい工場跡地で88戸、北保育園付近で20戸など、新たな住宅開発が進んでいるので、受け皿の整備が必要不可欠である。

○教育委員会との検討のなかで、小学校の敷地内での対応を検討したい。

〈委員〉

○空き教室がないので、増築も必要か。学習室を普通教室に戻すといった対応も必要か。

○少人数教育との矛盾などもあり、検討が必要である。

〈事務局〉

○絶対数の増加は間違いないので、どう対応するのか。

○敷地内での増築も視野にいれて対応するべきか、検討していきたい。

〈委員〉

○教育の問題に関連してくることをくれぐれも承知しておいてほしい。

〈委員〉

○対象は、あくまでクラブに入っているこどもだけか。

○児童センターには、クラブで預かっている子も、そうでない子もいる。部屋の安全面や、外部からくる子への対応などを検討してほしい。

〈事務局〉

○あくまで放課後児童クラブの子どもへの対応だが、実際に利用する子どもに対する安全面なども十分に配慮していきたい。

〈委員〉

○親から、学校で預かってほしいという声があると、児童クラブを紹介する。

○年間の回数は少ないだろうが、対応できなくなると学校として預かる必要が出てくると困るので、多少の余裕をみておいてほしい。

〈会長〉

○確保策は今後の検討事項になりますので、まずは確保する方向性をご理解いただきたい。

○利用者は増えてくるので、それに対する運用上の問題点を検討しておいてほしい。

〈委員〉

○病後児保育については、扶桑と協働委託でやっているの調整が必要である。

○見込み量については、扶桑町も入っているのか確認が必要。

○子どもの数が3年前は230人、昨年度は200人をきり少子化の傾向にある。少子化を加味した推計に配慮してほしい。

②次世代育成支援後期行動計画の進捗状況報告について

事務局より資料3-1「大口町次世代育成支援行動計画 達成状況 概要」を説明

事務局より資料4「大口町子ども・子育て支援事業計画の構成案」を説明

〈会長〉

○後期行動計画の評価、達成状況、課題を客観的な視点からをこのようにまとめて頂いた。

○この計画策定に関わってきた者として、80%の達成状況に町の努力を評価したい。

○限られた予算のなかで実施するのは難しいが、積み残しになっている課題についても、引き続き取り組んでほしい。

〈委員〉

- この資料を補完する意見なので、解決策のアイデアなのか。どちらに対する意見を述べればよいのかはっきりしてほしい。

〈会長〉

- 現状を把握するとともに、主にかかわった方々に、課題とその解決策・改善策のアイデアを出していただきたい。

〈事務局〉

- E欄の一次評価を踏まえて次期計画を検討していく。この方向性でよいのか、意見を頂きたいが、項目が多いのでポイントとなる課題について挙げさせていただいた。
- ドアノッキング事業は、本当にリスクを抱えている母子への対応ができているのかなど、これからのリーディング事業のヒントとなるように、力を入れるべき取り組みについてご意見を頂きたい。

〈会長〉

- 課題について、基本目標1から順に議論をお願いしたい。
- まずは、「基本目標1」について

〈委員〉

- 1-1について説明したい。
- 現在、江南厚生病院が主となって各市町の保健師と情報交換しながら、リスクを抱えている市町村に本人同意のもとに書面で情報を得ている。すべての産院ではないが、少しずつ連携を進めている。

〈委員〉

- ドアノッキングについては、やや民生委員に任せすぎてしまった感はある。子育て支援団体でもできることは限られるが、現状ではあまり関わっていない。4か月の赤ちゃん訪問と、5か月・満1歳のドアノッキング事業、それぞれの連携が課題である。
- 関係する団体が、みんなで考えていく「検討委員会」のようなミーティングの場を設けていくことが必要ではないか。
- 始まったばかりの時には、民生委員からの負担が大きいとの声も聞いたことがある。子育て支援団体も参加・協力できると、よりより支援体制が構築できるのではないか。

〈会長〉

- 内容の詳細な議論は、次回でもできるか。

〈事務局〉

- 次回は、素案の検討になる。リーディング事業に盛り込んでいければ検討していきたい。

〈会長〉

- さらに中身のあるものに充実を図るためにどうすべきなのか、検討することが大事である。
- 基本目標2～4についてはどうか。

〈委員〉

- スクールカウンセラーの増員は、県の事業なので、間違いではないか。
- 基本目標4が「親と子がともに学び育つ環境づくりを支援する」となっているが、成果として直接関連する内容は少ない。

- 学校の想いとズレているところもある。国・県の方針との間で難しいところもある。
- 4-2は、地域とは誰のことかなど、もっと目標と対応した施策体系の検討が必要ではないか。

〈事務局〉

- 前回の計画についての評価ですので、これを踏まえて組立を精査したい。

〈会長〉

- 文言や整合性については、現計画を踏まえたものであるという理解でよろしいか。

〈委員〉

- 学校側の姿勢や構えが変わってしまうと、方向性がずれてしまうので

〈委員〉

- 通学路の問題が遅々として進捗しないので、A評価には納得できない。
- 子どもの命が優先なので、保護者が付き添って登校している。ちょっとラインを引いてもらえれば効果がある。

〈事務局〉

- この評価は、すべて改善したから「A」ではなく、個別にできるところから改善しているのが現状である。

〈会長〉

- 総合的な評価になるのは仕方ないが、個々の意見や要望については各課にお伝えいただきたい。
- 資料2についても、了承していただいたということによろしいでしょうか。
- ただし、内容的には課題も多く残しているので、引き続き計画の中身について検討をお願いしたい。

3. その他

〈事務局より今後の日程について説明〉

- 第4回は12月中旬の開催を予定している。

〈委員〉

- できればもう少し早く資料を送ってほしい。